

昭和小学校だより

第21号
R3.3.12(塩田)



避難訓練 (火災想定) 3/9



鏡消防署の方に来ていただいて、避難訓練を実施しました。児童には「この週にやる」ということだけ告知して、あとは抜き打ちで行いました。はじめの頃は休み時間に非常ベルが鳴ると、びっくりして一旦教室に戻ろうとする低学年児童も見受けられましたが、今回は、58秒後には決められた場所に全員集合できました。

その後、消火器の使い方も教えていただき、訓練をしました。命が一番大事であること、人に知らせること、小さな火は初期消火が大切であることなどを学びました。



郡築小と交流会 3. 4年生 3/11



【画面をじっと見えています】

例年、郡築小を訪問して交流していましたが、今年は感染症対策のためZoomを使ったオンライン交流を初めて行いました。まず、郡築小の4年生が郡築小のことを〇×クイズ形式で紹介してくれました。そして昭和小からはCM風に学校紹介をしました。オンラインの様々な可能性も感じることでできた1日でした。



雨だったけど楽しめた お別れ遠足の日 3/12



千丁小前の「いぐさの里公園」まで頑張って歩くつもりでしたが、あいにくの雨により残念ながら中止になりました。



【1年生がお礼の手作りメダルを贈呈】



【お弁当もディスタンスを取って】

でも、体育館で、6年生とのお別れ会をしたり、ゲームをしたりして楽しみました。

お別れ会の企画や進行は5年生～3年生の新運営委員が担当。6年生のあとを立派に引き継いでいけそうで安心しました。

その後5.6年の男の子たちがステージにあがり、「コント」を披露して楽しませてくれました。

津波と黙祷 ～2年生との会話から～

3月11日(木)の14:46に東日本大震災で犠牲になられた方々を思い、全校児童で黙祷しました。

その少し前に、2年生の男の子が「校長先生、今から何するんですか？」と聞いてきたので、ちょっと説明が難しいなと思いつつ「あのね、〇〇くんが生まれる少し前にすごい大地震があって、海の水がゴーッと町に流れてきたとたい。」と話したところ、「津波ですか？」と聞き返してくれました。私は「ああ、そうそう」と返事しながら、「2年生の子ども、『津波』という言葉ちゃんと知っているんだな」改めて思いました。

そして、続けて「黙祷」とか「ご冥福」とかをどうやって説明しようかなと迷いつつ、「2万人くらいの方が亡くならしたけん、みんなで目をつぶって・・・」と言ったところで言葉に詰まりました。すると、その子が「亡くならしたけん、お祈りするんですか？」と先を続けてくれたのです。小さな子供の心にも壮絶な災禍と人々の悲しみ的一端は届いているのかもしれないと感じた出来事でした。

